

130 番の歌 進んで許す

罪を犯した人に対してエホバと同じ見方をする

「もし誰かが罪を犯したとしても、私たちを助けてくださる方が.....います」。ヨハネ第一 2:1

私の子供たち、皆さんが罪を犯さないように、私はこれらのこと書いています。とはいっても、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちを助けて(*擁護して)くださる方が父のもとにいます。正しい方であるイエス・キリストです。

ポイント：1世紀のコリントの会衆は重大な罪をどのように扱ったでしょうか。

そこから何を学べるでしょうか。

1. エホバは全ての人にどんなことを望んでいますか。

エホバは人間を自由意志を持つ者として造りました。私たちは毎日いろいろな決定をします。中でも一番大切なのは、エホバに献身してエホバの家族の一員になるという決定です。エホバはみんながそうすることを願っています。私たちのことを愛していて、一番幸せな生き方をしてほしいと思っているからです。エホバはご自分との友情をいつまでも楽しんでほしいと願っています。（申 30:19, 20 私は今日、天と地を証人にして、あなたの前に、命と死、祝福と災いを置きました。あなたは生きるために、命を選ばなければなりません。あなたもあなたの子孫もです。20 すなわち、あなたの神エホバを愛し、神の言うことを聞き、神にしっかりと付くのです。エホバはあなたに命を与え、父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った土地で長く生きていけるようにしてください。ガラ 6:7, 8 思い違いをして(*だまされて)はなりません。神はご自分を悔る者を大目に見ることはできません。人は自分がまいているものを必ず刈り取ることになります。8 罪深い欲望のままにまいている人は、罪深い欲望によって腐敗を刈り取り、聖なる力(*)に導かれてまいている人は、聖なる力によって永遠の命を刈り取ることになるのです）

2. エホバは、重大な罪を悔い改めない人にどんなことを願っていますか。（ヨハネ第一 2:1）

2 とはいえ、エホバはご自分に仕えるように強制することはしません。それぞれの自由意志を尊重します。もし、バプテスマを受けたクリスチャンが重大な罪を犯したなら、どうなるでしょうか。悔い改めない場合、その人は会衆から除かれることになります。（コリー 5:13 神が外部の人たちを裁くのではありませんか。「皆さんの中から悪い人を除きなさい」）でもエホバは、罪を犯した人がご自分のもとに戻ってくることを心から願っています。だからこそイエスを贖いとして与え、悔い改めた人の罪が許されるようにしました。（ヨハネ第一 2:1 私の子供たち、皆さんが罪を犯さないように、私はこれらことを書いています。とはいっても、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちを助けて(*擁護して)くださる方が父のもとにいます。正しい方であるイエス・キリストですを読む。）愛情深いエホバは罪を犯した人に、ぜひ悔い改めるようにと温かく呼び掛けています。（ゼカ 1:3 彼らに言いなさい。『大軍を率いるエホバはこう言う。『『私のもとに戻りなさい』と大軍を率いるエホバは言う。『そうすれば、私もあなたたちのもとに戻ろう』と大軍を率いるエホバは言う』』。ロマ 2:4 それともあなたは、神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですか。ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてください。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください）

3. この記事では何を学びますか。

3 エホバは私たちに、重大な罪や罪を犯した人に対して自分と同じ見方をしてほしいと思っています。この記事ではどうすればそうできるかを学びます。では、(1) 1世紀のコリントの会衆で重大な罪がどのように扱われたか、(2) パウロは、罪を犯した人が悔い改めたときにどうするよう指示を与えたか、(3) 重大な罪を犯した人へのエホバの見方について何が学べるかを考えましょう。

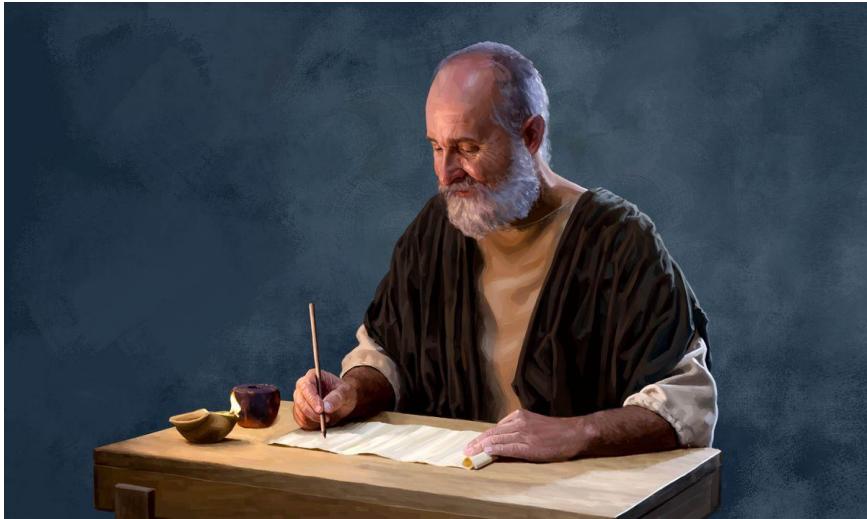
1世紀の会衆は重大な罪をどのように扱ったか

4. 1世紀のコリントの会衆でどんなことが起きていましたか。 (コリント第一 5:1, 2)

4 コリント第一 5:1, 2 私は皆さんの中で性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)が行われていると聞いています。異国の人々間にさえ見られないような性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)で、自分の父親の妻を自分のものにしている人がいるとのことです。2しかも、皆さんはそれを誇っているのですか。誇るのではなく嘆き、そういうことをした人を追放すべきではないでしょうかを読む。第3回宣教旅行中のことです。コリントにできたばかりの会衆から、耳を疑うような知らせがパウロのもとに届きます。ある兄弟が自分の父親の妻と性関係を持った、というのです。その行いは「異国の人々間にさえ見られない」ほどひどいものでした。コリントの会衆はその行いを容認していました。それだけでなく、自分たちはエホバに倣った憐れみ深い見方をしていると考えて、誇っていたようです。でも、エホバがご自分に仕える人たちの罪を大目に見ることはありません。この男性は恥知らずなことをして会衆の評判を傷つけました。会衆の兄弟姉妹にも悪い影響を与えていたかもしれません。ではパウロはどんな指示を与えたでしょうか。

5. パウロは会衆にどんな指示を与えましたか。 どういう意味でそう言いましたか。 (コリント第一 5:13) (挿絵も参照。)

5 コリント第一 5:13 神が外部の人たちを裁くではありませんか。「皆さんの中から悪い人を除きなさい」を読む。聖なる力に導かれてパウロは、罪を悔い改めない人を会衆から除くように、という指示を与えました。会衆の人たちはその人にどんな接し方をする必要があったでしょうか。パウロは「そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてなりません」と言いました。 (ヨハネ福音書 5:11) それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道徳な人(*), 貪欲な人、偶像を崇拜する人、ののしる人、酩酊する人、脅し取る人がいれば、そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもなりません) どうしてでしょうか。誰かと一緒に食事をするなら、それがきっかけでその人と親しくなっていくことでしょう。パウロが交友を持たないようにと言ったのは、会衆を悪い影響から守るためにでした。 (コリント第一 5:5-7) そのような人をサタンに引き渡して悪い影響力を除き去らなければなりません。主の日に会衆の健全な精神が守られるようにするためにです。6 皆さんが誇っているのは良くないことです。少しのパン種(*酵母)が生地全体を発酵させることを知らないのですか。7 古いパン種を取り除き、新しいパン生地であつてください。皆さんの中に酵母はないはずです。私たちの過ぎ越しの子羊であるキリストが犠牲にされたからです) これは罪を犯した本人のためにもありました。その人は、エホバをどれほど傷つけてしまったかに気付いて深く悲しみ、悔い改めるように心を動かされたかもしれません。



パウロは聖なる力を受けて手紙を書き、罪を悔い改めない人を会衆から除くよう指示した。（5節を参照。）

6. 会衆の人や悪いことを行った人は、パウロの手紙を読んでどんな影響を受けましたか。

6 パウロはコリントのクリスチャンに手紙を送った後、会衆の人たちがどのように反応したか気になりました。やがて、兄弟姉妹がパウロの手紙によく従っていることをテトスから聞いて喜びます。（コリ二 7:6, 7 しかし、気落ちしている人を慰める神が、私たちのそばにテトスをいさせることによって、慰めてくださいました。7 テトスがいたことに加え、テトスが皆さんに会って慰められたのを聞けたことも、神からの慰めでした。皆さんに私に会いたいと思っていること、深く悲しんでいること、私を心から気遣っていることについて、テトスは報告してくれたのです。それで私は一層うれしくなりました）それだけではありません。パウロが手紙を送ってから数カ月の間に、以前に悪いことを行った人が罪を悔い改めました。その人は考え方や生き方を改め、エホバの正しい基準に沿って生きるようになっていました。（コリ二 7:8-11 前の手紙によって私は皆さんを悲しませましたが、後悔していません。初めは（その手紙が、少しの間とはいえ、皆さんを悲しませたことが分かったので）後悔しましたが、9今は喜んでいます。皆さんにただ悲しんだのではなく、悲しんで悔い改めたからです。皆さんは神の意志に沿って悲しんだので、私たちがしたことは皆さんにとって害にはなりませんでした。10神の意志に沿った悲しみは、救いにつながる悔い改めを生じさせて、後悔はありません。一方、世の考えに基づく悲しみは死をもたらします。11皆さんに神の意志に沿って悲しんだので、皆さんの中にひたむきな真剣さが生み出されました。汚れを除き、憤りや畏れ、真剣な願い、熱意を抱き、悪を正しました！皆さんは例の件に関して清い（*潔白である）ことをあらゆる点で証明しました）このような状況にある会衆に、パウロはどのような指示を与えたでしょうか。

会衆は悔い改めた人にどう接する必要があったか

7. 罪を犯した人を会衆から除くことによって、どんな良い結果になりましたか。（コリント第二 2:5-8）

7 コリント第二 2:5-8 誰かが悲しみをもたらしたのであれば、私をではなく皆さんをいくらか悲しませたことになります。いくらかというのは和らげた言い方です。6 その人には多数の人からすでに叱責が与えられており、それで十分です。7 今は優しく許して慰めるべきです。その人があまりの悲しみに打ちのめされてしまわないとめです。8 それで皆さんに勧めます。皆さんの愛をその人に確信させてくださいを読む。パウロは、「その人には多数の人からすでに叱責が与えられており、それで十分です」と言いました。（ヘブ 12:11 確かに、どんな矯正も、その時は喜ばしいものに思えず、痛みを伴います（*耐え難いものです）。しかし後に、それによって訓練された人は平和を味わい（d*平和な実を結び）ます。正しく生きられるようになるのです）その人は自分の罪の重々に気付いて悔い改めたので、それ以上の矯正はもう必要ありませんでした。

8. パウロは会衆にどんな指示を与えましたか。

8 それでパウロは会衆に、 罪を犯した兄弟を「優しく許して慰め……皆さんのが愛をその人に確信させてください」と指示しました。この指示には、 その人が会衆に戻れるようにする以上のこととが関係していました。パウロは会衆の兄弟姉妹に、 悔い改めた人を本当に許して愛していることを言葉や行いや態度で表してほしい、 と思っていたのです。会衆はそうすることによって、 戻つてきてくれてうれしいと思っていることを本人に伝えることができました。

9. 悔い改めた人を許しにくく感じるどんな理由があったかもしれませんか。

9 戻ってきたこの人を温かく迎えることに抵抗を感じた人もいたでしょうか。聖書には何も書かれていませんが、 その可能性はあります。その人が以前に犯した罪は会衆にも大きな影響を与えたし、 個人的にも傷つけられたと感じた人がいたかもしれません。自分はエホバの基準を守るよう一生懸命努力してきたのに、 あんなに悪いことをした人が温かく迎え入れられているのは不公平だ、 と感じた人もいたかもしれません。 (ルカ 15:28-30 ところが彼は怒り、 入ろうとしませんでした。すると父親が出てきて、 中に入るよう促し始めました。 29 上の息子は父親にこう答えました。『私はこれまで何年もあなたのために奴隸のように働いてきて、 言い付けに背いたことは一度もありません。それなのに、 友人と一緒に食べるための子ヤギさえ一度も下さったことがありません。 30 ところが、 娼婦たちと一緒にあなたの資産を乱費したあのあなたの息子が戻るとすぐ、 肥えた子牛を振る舞ったのです』と比較。) では、 会衆の人たちが戻ってきた兄弟を心から愛することはどうして大切だったのでしょうか。

10-11. 長老たちが悔い改めた人を許そうとしないなら、 どんな危険がありましたか。

10 もし長老たちが、 本当に悔い改めた人を会衆に復帰させなかつたら、 どうなっていたと思いますか。あるいは、 戻ってきた人に会衆の人たちが愛を示そうとしなかつたら、 どうなつたでしょうか。悔い改めた人は「あまりの悲しみに打ちのめされて」 しまつたでしょう。もう自分は会衆に戻れないんだ、 と感じたかもしれません。そして、 エホバとの友情を取り戻すことを諦めてしまったかもしれません。

11 それだけではありません。悔い改めた人を許そうとしないなら、 会衆の兄弟姉妹はエホバとの友情を失ってしまう危険がありました。快く許すエホバではなく、 厳しくて憐れみを示そうとしないサタンの態度に倣うことになったからです。サタンは、 悔い改めた人のエホバに仕えたいという気持ちを失わせたいと思っていました。会衆の兄弟姉妹が許そうとしないなら、 そんなサタンに協力してしまう危険がありました。 (コリニ 2:10, 11 何かのことで皆さんのが誰かを許すなら、 私もします。私がこれまでに許した事柄はどれも (私が何かを許したのであればですが) , キリストの前で皆さんのためにしたことです。 11 私たちがサタンに付け込まれない(*だまされない)ようにするためです。私たちはサタンの手口(*策略/意図)を知らないわけではありません。エフェ 4:27 悪魔に隙を与えてはなりません)

12. コリントの会衆の人たちはどうすればエホバに倣うことができましたか。

12 コリントの会衆の人たちは、 どうすればサタンではなくエホバに倣うことができましたか。エホバが悔い改めた人に接するのと同じようにすることによってです。エホバについて聖書が何と述べているかに注目してみましょう。例えば、 ダビデは「あなたは善い方で、 快く許してくださいます」と言っています。 (詩 86:5 エホバ、 あなたは善い方で、 快く許してくださいます。あなたに呼び掛ける人全てに、 握るぎない愛を豊かに示してください) ミカはこう言いました。 「あなたのような神

がいるでしょうか。……過ちを許し、違反を見過ごす方」。（ミカ7:18 あなたのような神がいるでしょうか。あなたはご自分の財産である民の残りの者のために、過ちを許し、違反を見過ごす方。いつまでも怒りを抱き続けることはない。搖るぎない愛を示すことを喜ばれるから）イザヤはこう言っています。「悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に許してください」。（イザ55:7 悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してください）

13. コリントの会衆が悔い改めた人の復帰を遅らせなかつたことは正しかつた、といえるのはどうしてですか。（「罪を犯したコリントの兄弟が会衆に復帰したのはいつか」の囲みを参照。）

13 コリントの会衆の人たちはエホバに倣って、悔い改めた人を温かく迎え、愛していることが本人に伝わるようにする必要がありました。会衆はパウロの指示に従い、「全てのことについて従順」であることを示しました。（コリ二2:9 私が手紙を書いたのは、皆さん全てのことについて従順かどうかを確かめるためでもあります）罪を犯した人は会衆から除かれて数ヶ月しかたっていませんでしたが、矯正によって悔い改めることができていました。それで、その人の会衆への復帰を遅らせる理由は何もありませんでした。

罪を犯したコリントの兄弟が会衆に復帰したのはいつか

コリント第一5章 私は皆さんの中で性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)が行われていると聞いています。異国の人々の間にさえ見られないような性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)で、自分の父親の妻を自分のものにしている人がいることがあります。2 しかも、皆さんはそれを誇っているのですか。誇るのではなく嘆き、そういうことをした人を追放すべきではないでしょうか。3 私の体が皆さんのお所になくとも、私の心はそこにある、私は実際に皆さんと共にいるかのように、その人をすでに断罪しました。4 皆さんは、私たちの主イエスの名によって集まる時、主イエスの力と共に私の心もそこにあることをわきまえ、5 そのような人をサタンに引き渡して悪い影響力を除き去らなければなりません。主の日に会衆の健全な精神が守られるようにするためにです。6 皆さんが誇っているのは良くないことです。少しのパン種(*酵母)が生地全体を発酵させることを知らないのですか。7 古いパン種を取り除き、新しいパン生地であつてください。皆さんの中に酵母はないはずです。私たちの過ぎ越しの子羊であるキリストが犠牲にされたからです。8 それで、古いパン種や、悪意と邪悪のパン種を用いるのではなく、誠実と真実の無酵母パンを用いて祭りを行いましょう。9 私は皆さんへの手紙の中で、性的に不道徳な人(*)と交友するのをやめるようにと書きました。10 それは、この世の性的に不道徳な人(*)や、貪欲な人、脅し取る人、偶像を崇拜する人と全く交友しないようにという意味ではありません。もしそうだとすると、皆さんは世から出なければならないことになります。11 それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道徳な人(*), 贪欲な人、偶像を崇拜する人、ののしる人、酩酊する人、脅し取る人がいれば、そのような人とは交友するのをやめなさい。一緒に食事をしてもなりません。12 私は外部の人たちを裁く立場にあるでしょうか。皆さんは内部の人たちを裁くのであり、13 神が外部の人たちを裁くのではありませんか。「皆さんの中から悪い人を除きなさい」に出てくる兄弟は会衆から除かれた後、短期間のうちに会衆に復帰したと思われます。どうしてそういえるでしょうか。

コリントのクリスチヤンに宛てた2通の手紙がいつ書かれたかを考えてみましょう。パウロは1通目の手紙を3回目の宣教旅行の途中に書きました。それは西暦55年の初めごろだったと思われます。そして2通目の手紙を同じ年の夏の終わりか秋の初めに書いたと思われます。

パウロは1通目の手紙で、飢餓に苦しんでいたユダヤのクリスチヤンを助けるための募金について指示を与えています。そして2通目の手紙で、ユダヤのクリスチヤンに送るための寄付を準備

するように、と改めて書いています。仲間の命が懸かっていたので、パウロは1通目の手紙を書いたすぐ後に、2通目の手紙を書いたと考えられるでしょう。（コリー16:1さて、聖なる人たちのための募金については、私がガラテアの諸会衆に与えた指示に従ってください。コリ二9:5それで私は、兄弟たちに先にそちらに行くよう勧める必要があると考えました。以前申し出てくださった親切な贈り物を皆さんに用意していただくためです。そうすれば、それは強要された物ではなく、気前よく与える贈り物になるでしょう）

パウロが2通目の手紙ができるだけ早く書いたと思われる別の理由もあります。パウロはその男性が悔い改めたという報告を受け取っていました。当時、手紙を届けるには時間がかかりました。それでパウロは、できるだけ早く会衆に必要な指示を与えるために、すぐに手紙を書いたことでしょう。



こうした点を踏まえると、罪を犯した人が会衆から除かれた後、短期間のうちに、おそらく数ヶ月後に、パウロはその人を会衆に復帰させるように伝えたと考えることができます。

公正で憐れみ深いエホバに倣う

14-15. 1世紀のコリントで扱われた問題からどんなことを学べますか。（ペテロ第二3:9）（写真も参照。）

14 1世紀のコリントで扱われた問題は「私たちを教えるために」書かれました。（ロマ15:4以前に書かれた事柄は皆、私たちを教えるために書かれました。そのおかげで私たちは忍耐でき、聖書から慰めを得られるので、希望を持っていられます）この記述から、エホバは会衆の中で重大な罪が行われることを大目に見たりしないということが分かります。ある人は、エホバは憐れみ深いので、罪を悔い改めなくても兄弟姉妹と交友を持ち続けられるようにしてくださると考えるかもしれません。でも、それはエホバの見方ではありません。エホバは確かに憐れみ深い神ですが、何でも許容するわけではなく、正しさの基準を下げることもありません。（ユダ4なぜなら、皆さんの中に、聖書によってずっと前から有罪とされていた人たちが紛れ込んでいるからです。その人たちは神への敬意がなく、私たちの神の惜しみない(*過分の)親切に付け込んで恥知らずな行い(c*ギ語アセルガイア)をし、私たちの唯一の所有者(*主人)である主イエス・キリストに不忠実です）実のところ、間違った憐れみを示すなら、会衆のみんなを危険にさらしてしまいます。（格13:20賢い人たちと共に歩むと賢くなり、愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭う。コリー15:33だまされて(*思い違いをして)はなりません。悪い交友は良い習慣を台無しにします(*道徳心をむしばみます)）

15 でも、私たちが知っている通り、エホバは一人も滅ぼされないでほしいと思っています。可能な時にはいつでも救いたいと思っています。心を入れ替え、ご自分との絆を取り戻したいと思っている人に、憐れみを示します。（エゼ 33:11 彼らに言いなさい。『主権者である主エホバはこう宣言している。「生きている私自身に懸けて誓う。私は悪い人の死を喜ばず、かえって、悪い人が生き方を変えて生き続けることを喜ぶ。悔い改めて、悪い行いをやめなさい。イスラエル国民よ、あなたたちが死ぬようなことがあってよいだろうか』）。ペテロ第二 3:9 エホバ(*)は約束を果たすのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんのことと辛抱しているのですを読む。）それでエホバはコリントの会衆に、以前に罪を犯した人を許して再び迎え入れるように、とパウロを通して指示しました。その人が悔い改めて、罪深い生き方をやめていたからです



エホバの愛と憐れみに倣い、会衆の仲間は復帰した人を温かく迎える。（14-15 節を参照。）

16. コリントで問題がどのように扱われたかを調べると、どんな気持ちになりますか。

16 コリントで問題がどのように扱われたかを調べると、エホバが正しさと公正を大切にしていることや、私たちを本当に愛していることが分かります。（詩 33:5 神は正しさと公正を愛する方。エホバの揺るぎない愛は地上に満ちている）私たちは皆どんなに頑張っても罪人で、エホバに許してもらう必要があります。それで、エホバが贖いによって罪を許してくださいさることを考えると、①本当に感謝の気持ちでいっぱいになります。それだけでなく、②エホバをもっと賛美したいという気持ちになるのではないでしょうか。③エホバがご自分に仕える人たちのことを心から愛し、幸せを願っていることを知ると、安心できます。

17. 続く2つの記事ではどんなことを考えますか。

17 ①現代では、重大な罪はどのように扱われるでしょうか。②長老たちはどうすればエホバの愛に倣って、罪を犯した人を悔い改めるよう助けられるでしょうか。③会衆の人たちは、長老たちがある人を会衆から除く、または復帰させるという決定をすると、どうするとよいでしょうか。続く2つの記事でこうした点を考えます。

どんなことを学びましたか

1. エホバは全ての人にどんなことを願っていますか

・S01 エホバは人間を自由意志を持ち、自分で決定できる者として造った。中でも一番大切なのは、エホバに献身してエホバの家族の一員になるという決定。エホバは、私たちのことを愛していて、一番幸せな生き方をしてほしいと思っているので、みんながそう決定して、ご自分との友情をいつまでも楽しむように願っている。

・S02 もし、バプテスマを受けたクリスチャンが重大な罪を犯して、悔い改めない場合、その人は会衆から除かれることになる。それでもエホバは、罪を犯した人がご自分のもとに戻ってくることを心から願って、イエスを贖いとして与え、悔い改めた人の罪が許されるようにし、ぜひ悔い改めるようにと温かく呼び掛けている。

2. パウロはコリントの会衆に、罪を悔い改めない人に対してどうするよう指示を与えたか

・S05 聖なる力に導かれてパウロは、罪を悔い改めない人を会衆から除くように、という指示を与えた。誰かと一緒に食事をするなら、それがきっかけでその人と親しくなる危険があった。

パウロが交友を持たないようにと言ったのは、会衆を悪い影響から守るため。

さらにその処置は、その人がエホバをどれほど傷つけてしまったかに気付いて深く悲しみ、悔い改めるように心を動かされるよう働き、その罪を犯した本人のためにもなった。

3. パウロはコリントの会衆に、罪を犯した人が悔い改めたときにどうするよう指示しましたか

・S08 罪を犯した兄弟を「優しく許して慰め……皆さんのが愛をその人に確信させてください」と指示した。この指示には、その人が会衆に戻れるようにすること、会衆の兄弟姉妹に、悔い改めた人を本当に許して愛していることを言葉や行いや態度で表して本人に伝わるようにしてほしい、と思っていたことが関係。

・S10 もし長老たちが、本当に悔い改めた人を会衆に復帰させなかったり、戻ってきた人に会衆の人たちが愛を示そうとしなかったなら、悔い改めた人は「あまりの悲しみに打ちのめされて」しまい、エホバとの友情を取り戻すことを諦めてしまう可能性があった。

・S11 悔い改めた人を許そうとしないなら、快く許すエホバではなく、厳しくて憐れみを示さうとしないサタンの態度に倣うことになり、会衆の兄弟姉妹もサタンに協力することにより、エホバとの友情を失ってしまう危険があった。

109 番の歌 心から熱烈に愛しましょう

△（ヨハ一 2:1）私の子供たち、皆さんが罪を犯さないように、私はこれらのことと書いています。とはいって、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちを助けて*くださる方が父のもとにいます。正しい方であるイエス・キリストです。

または、「擁護して」。

△（申 30:19, 20）私は今日、天と地を証人にして、あなたの前に、命と死、祝福と災いを置きました。あなたは生きるために、命を選ばなければなりません。あなたもあなたの子孫もです。